

～光る!! 高校生たちの鋭い視点～

高校生議会を開催しました

令和2年度に「知立市議会50周年記念事業」として、市内の3校（知立高等学校、学校法人山本学園、知立東高等学校）の参加による「高校生議会」を開催する準備を進めてきました。これは、選挙年齢の引き下げにより、政治や選挙が身近なものになった高校生に対する主権者教育の一環として、議会活動を体験し、地方自治への関心を高めてもらうとともに、若者の視点から広くまちづくりについて意見を聴き協議する機会としています。新型コロナウイルス感染症の影響により1年延期となりましたが、令和3年8月6日に開催しました。



当日の流れ

◇本会議前半◇

3校の代表質問者がそれぞれのテーマについての代表質問を行いました。

◇委員会◇

学校ごとの委員会に分かれて、議員と共に各校のテーマについて協議しました。

◇本会議後半◇

委員会で協議した内容をまとめ、3校それぞれの委員長が報告しました。



各学校のテーマ

知立高等学校委員会

「LGBTの生徒に対する対応」

LGBT（同性愛や身体と心の性の不一致等のマイノリティ）の子どもの68%がいじめを受けるなど、LGBTの学齢期の子どもたちは、自身の性に悩み苦しんでいる。児童生徒、教職員、保護者の理解を深め、実際におきている問題に目を向け、市として取り組みをすべき！

学校法人山本学園委員会

「通学路の危険な交差点に信号機設置を」

議員と学校周辺のまち歩き調査を踏まえ、登下校時間帯は学生や知立駅へ向かう市民他、車で出勤する人も多く、大変混雑する3号館校舎前の明治用水緑道の横断歩道（県道298号線）の安全確保が必要である。山本学園3号館南西横断歩道の交差点に信号機設置を！

知立東高等学校委員会

「市内の子どもたちの縦のつながりと教育」

知立市では、放課後子ども教室など子どもの居場所は確保されているが、小中高生が一緒に過ごす機会や場所が少ない。地域で年齢を超えた縦のつながりを強くするため、自ら企画運営するイベントの開催や学校外での交流スペースをつくっては！



未来へつなぐ 高校生の思い （参加した高校生の感想）

- ・ 私たち高校生からの視点と大人の方の視点は違うので、意見交換のできる機会はとても大切だと実感しました。
- ・ 提案した内容が、これからの新しいルールをつくり出す時に少しでも取り入れられると嬉しいです。
- ・ とても充実し、いい経験ができたと思います。
- ・ 自分だけでは思いつかないことも、みんなで話し合ったら多くの角度から見ることで、いろいろな意見が出るということが分かり、学ぶことが多かったです。
- ・ 参加したことで、普段のまちの見方が変わり、自分の住んでいる市の活動に興味を持つようになりました。
- ・ 議員という仕事は、まちやそこで生活する人々の為を思う、素敵な仕事だと思いました。
- ・ 普段感じていた疑問を議員さんにぶつけることができ、私たちのまちづくりへの考え方が大きく変わったと思います。

新型コロナウイルス感染症の影響で1年延期を乗り越えて、市内3校のご理解とご協力のもと、無事に開催できましたことを心より感謝申し上げます。これからも高校生の皆さんに、政治やまちづくりに関心を持っていただき、新鮮な発想をたくさんお聞かせ下さい。